

10. 教育・文化分野 - - - 図書管理

2005年

- 具体的なシステム概要
 - 図書に電子タグを添付、受付では読取機で貸出、返却処理を実施、館出入口の読取機では書籍の検出を行うシステム
- 実現の効果
 - 貸出・返却処理が迅速化され、また未処理の書籍の館外持出の検出ができる。
- 技術開発課題
 - 高度センシングシステム技術、超小型ワンチップコンピュータ技術
- 取り組むべき課題
 - タグの低コスト化、既存図書DBとの連携

利用イメージ

2010年

- 具体的なシステム概要
 - 書籍の棚に読取機を添付し、ディスプレイ付携帯読取機を利用することにより、書籍の探索や整理を容易にするシステム
- 実現の効果
 - 図書館員による書籍の探索や整理を迅速化し、また館内に不慣れた消費者が関連書籍とその場所の探索を容易にすることができる
- 技術開発課題
 - 高度センシングシステム技術、超小型ワンチップコンピュータ技術、モビリティ制御管理
- 取り組むべき課題
 - 電子タグの低コスト化、一定距離(数m程度)内の多量なタグデータの読取精度の向上

利用イメージ

10. 教育・文化分野 - - - 電子図書街

2005年

- 具体的なシステム概要
 - 図書に電子タグを添付し、図書の内容を記録したデータベースと連動する。
 - 複数の図書館や博物館、美術館のデータベースを連携させ、関連した書籍の検索を行う。
- 実現の効果
 - 利用者へ関連知識を柔軟に提供することで、創造性を刺激。
 - 図書館の物理的な「棚」を越えて、欲しい情報の概要を獲得することが可能。
- 技術開発課題
 - 書籍のIDと図書データベースとの関連の向上、効率的な関連情報検索アルゴリズム。
- 取り組むべき課題
 - 図書データベースとの連携、図書におけるID体系の検討

利用イメージ

2005年

図書館や、複数の美術館の蔵書データベースを連携し、希望する図書を検索することが可能、タグとの連携により、より容易な手続きで貸出しを受けることが可能。

2010年

- 具体的なシステム概要
 - 複数の図書館・美術館・博物館の蔵書と、データベースとの連動により、バーチャル空間上での書籍、書物の閲覧や美術品の鑑賞が行える「電子図書街」の構築
- 実現の効果
 - バーチャル街と現実の書物のダイナミックな連携
 - 実際の街角を歩かような感覚で、その街角の文脈に応じた情報を効果的に提供可能。
- 技術開発課題
 - 図書、画像、映像の自在な検索をするため、タグを軸にしたコンテンツ管理
- 取り組むべき課題
 - 創造性のあるコンテンツの提供手法
 - コンテンツと蔵書IDとの連携手法

利用イメージ